

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2025年4月10日

4月10日（木）、金沢大学がん進展制御研究所において、神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター／東京大学薬学部分子腫瘍薬学 北村 俊雄先生による、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、クローニ性造血による白血病や心筋梗塞など、様々な疾患の発症への影響について、マウスモデルを用いた遺伝学的な解析による最新の知見をお話しいただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等 23名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



クローン性造血と各種疾患 との関係性の解析

講演者：神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター
センター長
東京大学薬学部分子腫瘍薬学 特任研究員

北村 俊雄 先生

日時：2025年4月10日(木) 17:00～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

一見健康な65歳以上の高齢者の10人中の1人に、白血病関連遺伝子変異を1つ有するクローン性の造血（CHIP）が存在することが注目されています。CHIPは造血器腫瘍の発症リスクを高める以外に、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、骨粗鬆、自己免疫疾患との関係も示唆されています。当該研究領域の第一人者である北村先生に、クローン性造血が誘導する造血器腫瘍、動脈硬化、血管石灰化の分子機構について講演していただきます。

皆様奮ってご参加ください。